



「微笑」

和田 英敏さん 撮影

カメラ
フィルム
ライオン
コンタクト
F4オート

写真サークル
ピンボケ会

ふるさとの歴史が王塚装飾古墳館に

「よみがえる
明治・平山鉱業所」展



3月13日から「明治・平山鉱業所」展が開催される中、町内外から当時を懐かしむ、たくさんの方が訪れています。

昔、平山鉱業所の所有する海の家「一乃荘」を買とり、最近まで旅館を営業していた安部文範さん(福津市)は、残された炭坑写真や資料に興味を持つとともに、実際に炭住を歩いて、「炭坑はなくなったが、今も人が住み、受け継がれ、生きているということに感動した」と、うれしそうに企画展を堪能していました。

短歌会 (三月例会) 矢野京子選

保育園に初出勤の孫の言ふ受け持つ零歳児泣くばかりなりと

原 哲子
戦の踵は疼きねむられず二月はよ去れ三月よ来よ

祝原 良子
家と家の間にのこれる一枚田早咲き菜の花純黄まぶし

下原スミエ
九十の吾を連れて娘はいそいそと太宰府の梅見せに來たりぬ

安河内芳江
いつせいにドアは開きたりながら空きの列車の中は冷気を満たす

末永 光昭

九郎丸区から芸術を発信
田牧壮平さんの作品展



春分の日3月21日、九郎丸区の公民館で「田牧壮平作品展」が開催。田牧さん(九郎丸区)は教職を退職後、画家活動に専念、年間500枚にもものぼる絵画を描かれているそうです。「近隣の市からも、来客があります。また開催したいですね」と、大村区長。

俳句会 (二月例会) 大庭土筆選

特選
うかれ猫明けの鳥に啼かれけり

老いらくと思へぬ声の恋の猫

早春の日向路に沸くキャンプかな

原口 孝子
本選
春寒きことを交して犬散歩

藤田 昌愁
早春の光り奏でて水の音

花田ムツ子